

三見  
参加用

十月廿七日

一 我乘細谷司令官ノ電報

午前十時發

我海軍砲ノ數ハ礮盤溝ニ五門火石岑子西方

ニ六門同東方ニ四門團山子ニ二門郭家溝ニ

二門合計十九門ニモテ此外夏家河子ニ艦砲

ニ架リモノ二門アリ礮砲ノナリタルモノハ

今日迄五門アリテ其内ニハ砲身交換シテ右

送ニ砲車等ハ完全ナル故残ニアルモアリ他

ニ豫備砲ナシ右電話輻輳ノ為メ送電遅延ス

一 昨日西港内ニ在リシ千噸許ノ汽船一隻我

海軍砲ノ為メ撃沈セラレタルモノ、如シ海

嵐山報告ニヨリハ仔集院觀測番ニ一二二三

ノ番号ヲ有スル汽船ハ昨夜錨地ヲ棄セシモノ

0700

下見迄今何處ニモ認メ得スト

一細谷司令官ハ電報 正午発

但馬濟遠艦長ヨリ一昨夜十一時柔地ニ射ノ

指揮セル裝砲艇隊(日進春日ノ汽艇)ハ口ハ

角以南ノ海濱ヲ偵察シ威嚇砲撃ヲ加ヘシモ

敵ハ始終應戦セサリシ零時十五分船体人員

損傷ナリ引揚ケタリ其砲撃ノ結果ニ関シテ

ハ多少ノ効果アリシト認ム

一細谷司令官ハ電報 午後六時発

攻城砲兵司令官ヨリ軍ハノ報告要旨昨廿六

日廿八冊砲ヲ以テ砲撃セシ効果ハ松樹山砲

台ニ対シ発射彈八一発中命中彈四七発二銃

山砲各ニ対シ発射彈一三二発中最モ効力ア

0701

三ノ  
二  
参加日

リニ命中弾二一発東鷄冠山砲名ニ対シ発射  
 彈七七発命中弾五九発同北砲名ニ対シ発  
 射彈八五発命中弾四一発リ得東鷄冠山火  
 砲一門リ破壊シ同北砲名火藥庫リ爆発シ又  
 陸戦重砲隊ノ砲撃ト合シテ松樹山砲ノ十五  
 門砲一門リ破壊シ他ノ一門リ毀損シ掩蓋敷  
 ケ所リ破壊シタルカ如シ  
 昨日我カ占領セシ二屯山砲名前ノ敵兵壕ニ向  
 ヒ昨夜數回有力ナル敵ノ逆襲アリシモ激烈  
 ナル戦闘ノ後悉ク撃退セラレ死屍約六十リ  
 残セリ我カ死傷約三百名  
 本日モ豫定ノ通り廿八門砲及海軍砲リ以テ  
 砲撃アリ命中甚々可シ

止  
三  
海  
軍  
砲  
隊

海  
軍

0702

一海軍山望樓報告

午前中ハ絶ハス小蒸氣ノ往復アリ零時ニ至  
 リ今朝見エサリシ汽船中一隻(三本樁一本煙  
 筒)ハ元ノ位置ヨリ約二百メートル西方ニ見  
 ハレ投錨ス又二隻三本樁二本樁)ハ何レモ船  
 首ヲ東方ニ向ケ三本煙筒ノ病院船ノ東南方  
 向ニ碇泊スルヲ認ム

十月廿八日

一扶桑參謀ヨリ電報

午前十時二十分着

左ノ電清遠艦長ニ傳ヘラレタシ我陸軍ノ米  
 ヲ積ムル汽船ヲエニサシ本月十九日營口へ  
 向ケ西貢ヲ出發セシ音報アリ

0703

一 扶桑參謀ヨリ電報

午後六時四十分着

左ノ電濟遠艦長ニ傳ヘラレタニ營口行ノ名  
請玄米ソ積メルエルニ号(デン)ロク及ド  
ツ止号ノウルエイノニ隻廿五日基隆ソ発シ  
三十日營口入港ノ豫定

一 扶桑細各司令官ノ電報

午後七時発

本日砲撃ハ風ノ為ニ命中稀粗ナルノ感アリ  
ニモ計畫書ニ記ス如ク本日ヨリ始メテ参加  
ニタニ砲モアリテ總テノ効果ハ益偉大ナル  
ニ至リシモト信ス時ニ海軍砲ソ以テセシ  
東港附近ノ砲撃ハ午前十一時半頃ヨリ午後  
二時前ニ至ル間及忒二時過ヨリ五時頃ニ至  
ル間前後二回大火災ソ起セリ位置ハ航シモ

0704

港務部附近ト思ハル海嶺山ノ報告ニヨリ  
 午後四時半頃ヨリ先虎尾端船名ノ西方ニ方  
 リヤシスウエトラキモノ、檣頭見ユト  
 昨日ノ砲撃成績ニ付攻城砲兵司令官報告要  
 旨ニ龍山砲名ニ對シ發射彈一二四發中命中  
 彈八一發東鷄冠山砲名ニ對シ七十發中四五  
 發、北砲名ニ對シ七十二發中四四發松樹山砲  
 名ニ對シ六十發中四一發白銀山北砲名ニ對  
 シ三三發中一六發而シテ此射撃ノ為メニ東  
 鷄冠山ノ砲一傾斜シニ竜山ノ重砲一輕砲ニ  
 機関砲ニ破壊シ松樹山ノ重砲ニ毀損シタリカ  
 如ク其他塔蓋掩蔽部等ヲ爆發シタリモノ  
 カラス又一昨夜ハ軍艦ニ三十發機関砲ニ廿

0705

發二龍山ニ三十二發松樹山ニ十六發東鷄冠  
山北ニ十發ノ廿八冊砲彈リ送レリ

一海濱山望樓報告

午後二時汽船一隻西港ヨリ東港ニ入ル葦色  
ニモテニ水牆一烟筒ナリニ午後二時四十分  
火災ノ最中東港ヨリ軍艦ラニキモノ出来リ  
老虎尾尖角ニ在リ其傾ケル牆頭ト烟筒ノ上  
部現ユルモ船体現エヌ火災ハ五分港務部府  
近ノ炭庫又ハ油庫ナラム四時三十分漸ク下  
火トナレリ老虎尾ノ軍艦ハ四時半ニ至リヤ  
レスウエリトト推定スハキマストリ見カス  
五時廿分火災鎮滅同三十五分大柴子山砲名  
ヨリ馬觀測所砲撃セム為又一時展望哨リ避

上ノ...

海軍

0706

ケシカ漸クニシテ又觀測ニ就ケリ

一 秋田聯合艦隊參謀書信要旨

一、バルケツク艦隊ハ来年一月来ルヘク推察セ

ラル彼ハ中々優勢ナルヘク其迄ニ仮令旅順

ハ畧取セサルモ港内ノ敵艦丈ニ是非撃滅セ

サルヘカラス

二、当艦隊ハ請修理ハ御美知ノ通ニテ波艦隊

対スルノ準備モ本是非整ハサルヘカラサル

モ旅順艦隊アル間ハ如何トモスル能ハス何

テモ早ク望名ヲ占領シ而後終始敵艦ノ擲射

ヲ急劇猛烈ニ継続セラレニコトリ切望ス

三、之ト同時ニ望獲ノ前進モ豫メ御計畫置被下

度中川文尉以下ノ勇氣ハ實ニ感謝至極其功

0707



三洲日  
5

ハ寶ニ敵艦ヲ擊沈スルニ優ル長官閣下ニモ  
大ニ賞賜セラシ居ル次第ニテ功勞正ニシテ録  
セラレアリ女尉ハ可然御傳達ノ乞フ

四一昨夜軍艦朝日浮流水雷ニ罹リ右舷々榜下  
装甲部損傷シタシ此幸ニ輕微トシテ戰鬥ニ  
差支ヘナシ

五大陽溝附近ノ新市街ハ是迄餘リ砲撃セサル  
様ナレ兵之モ時々砲撃可然又港内ノ船舶ハ  
軍艦ニアラサルモ見者リ次才撃沈セラルハ  
方宜ニ此等ノ船ノ沈没ニヨリ敵艦運動ノ區  
域ヲ狭ク甘ク行ケル水道閉塞トモ初相成  
一本日附第三軍命令左ノ如シ

第三軍命令

十月二十八日午後九時  
赤柳樹房

止

毎

0708

一、軍、明後日午後一時ヨリ以テ攻撃ヲ實施セシ

トス

二、諸團隊ハ凡テ二十五日癸軍命令ニ據リ行動

スヘシ

三、軍司令部ハ三十日午前九時ヨリ鳳凰山東南

高地ニ位置ス

第三軍司令官男爵 乃木希典

一、本日附七戦機密第三二八八号左ノ如シ

宇敷揚武艦長ニ訓令 三十七年十月二十八日  
於第三十地英扶桑

一支那形帆船ニ依ル密輸入ノ殆ニト根絶ニ得

タルモ敵ハ中立國汽船ヲ巧ニ使用ニ冒險的

密輸入ヲ企圖シツ、アルハ事實ニシテ香港

上海芝罘大沽及營口ノ外膠州灣英泰皇島附

参加日  
五回  
6

近ラ起點トスルモノアルカ如シ

ニ我艦隊カ現ニ實行シアル密輸入船監視部署

左ノ如シ

イ、第六戦隊ノ二艦ハ北隍城嶼附近ニ根拠シ廟

島列島西方ヨリ巡邏ス

ロ、第三戦隊ノ一艦ハBニ一〇ヨリBニ一三

地奥間ヨリ適宜運動主トシテ大沽方面ヨリ

来ルモノニ備フ

ハ、濟遠技隊ハ双島灣附近ニ愛宕分遣隊ハ北

隍城島ニ根拠シ相應シテ半島ニ近接スル

モノニ對ス

三、其艦ハ速ニ無線電信機ノ備付リテ渤海灣

ニ出テ別働隊輸入船ノ監視ニ任セB一五〇

海軍

海軍

0710

ヨリ乃ニ〇〇地真ニ至ルノ間ソ適宜巡航ニ  
 主トシテ大沽及芝罘両方面ヨリ營口ニ向フ  
 航路ニ備ハ中立國船舶ノ臨檢搜索ハ此際積  
 極的方針ニ出ルソ要ス  
 四出動中ハ臨棧廟嶋列嶋或ハ金州灣ニ根據シ  
 適宜休養ヲ蓄リ且ハ軍需品補給ノ為當地ニ  
 帰航スルヲ妨ケサルニ日々努メ附近味方艦  
 艇ト情報ヲ交換シ随時報告ヲ發スルニ努ム  
 可シ

第三艦隊司令官細谷資氏

三五九  
七  
參訓日

十月廿九日

一 枝束細谷司令官、電報

午後八時發

本日砲撃ハ豫定ノ通行ハル又昨夜松樹山上  
 = 於テ我占領ノ散兵壕ニ向ヒ有力ナル敵  
 襲アリ一時之ヲ棄ツルノ止リ得サルニ至リ  
 シカ本日午後突撃ヲ以テ之ヲ奪還セリ明日  
 午後一時ヨリ愈々總攻撃開始ノ筈一昨夜未ノ  
 砲撃ニ就キ攻城砲兵司令官報告要旨廿七日  
 夜廿八日砲ヲ以テ軍艦及掃帚局ニ向ヒ廿九  
 日二竜山ニ向ヒ廿一發松樹山ニ向ヒ廿二發  
 射又昨日ハ全砲ヲ以テ二。三高地ニ廿三發  
 中十六發松樹山ニ而。六發中六十九發東鷄  
 冠山ニ而十發中六十六發同北砲台ニ七十一

北七ノ三ノ海軍

海軍

0712

發中六十發ニ龍山ニ百廿三發中六發ノ命中  
彈ヲ得効果概シテ良好ナリ又海軍砲ヲ以  
テ椅子山砲台ノ火砲ニ門ヲ毀損シ旧市街ニ  
數回ノ火災ヲ起セリ

一海濱山望樓報告要旨

今朝未明ヨリ東港ノ一部ニ黒烟上ル八時四  
隻ノ掃海艇港外ニ出テ十時返艦一隻港外ニ  
出ツ午后二時掃海艇皆港内ニ入ル午後六時  
二十分西港奥ニ舟火事アリト聞キタルニ付  
東方ニ至リ暫時觀望セシモ日没ノ事ナレハ  
判然セス

一本日附聯合艦隊告文第五四號ヨリ左ノ一項ヲ

掲載ス

三  
五  
之  
八  
參  
加  
日

「廿六日附芝罘守田陸軍少佐ヨリ來電、萊城灣ニアル我間諜ヨリノ報告ニ於テハ、登州府ノ東方ナルリユウカ灣（告示第一七一號ニハ芝罘ノ東方リユウカ灣トアリ位置不明）ハ旅順口行密航船ノ根拠地ニシテ現ニ二十餘隻ノ密航支那船碇泊スルヲ認ム其内四隻ハ只今北走セリ」

十月三十日

午前八時叢

(2) 一 扶桑西參謀ノ電報

左ノ通秋山參謀ニ傳ヘラレシタニ御書面ノ趣  
委細叢知丸ヲノ事御希望通實行ノ筈ナリニ  
○三高地モ形勢次第本日突然占領ヲ試ムハ

北  
七  
八  
三  
海  
軍  
史  
料

海  
軍

キ当該部隊長ノ決心アリト聞ク是或ノ目的  
ヲ達スルナラム

(1) 一 枝桑細谷司令官ノ電報 午前七時三十分發

軍ハ午後一時ヨリ總攻撃ヲ開始シ各方面共  
目的ノ堡壘ニ向テ突撃ヲ決行セシムラシタ  
リ其結果警赫山砲台ノ東ニアル中間堡壘ハ  
我ガ占領ニ帰シ鷄冠山一帯ノ堡壘及ニ龍山松  
樹山ハ遂ニ其目的ヲ達スルニ至ラズシラ日  
没ニ至レリ不取敢右報告ス

一 細谷司令官ヨリ電報 午前十一時廿五分着

清遠艦長ノ傳ハラシタシ

六号砲艦明三十一日回航セシム場武其方面  
ニ別働艦トミテ出港セリ



一海峽山望樓報告

今朝ヨリ東港一帶烟アリハ、ヤレ又烟ヲ上  
 クセ八日報告セシ頃キタル穢ノ上部及煙筒  
 ノ上部ヲ見セシ船今朝沖ニ出シニヤ見エ  
 ス今朝推考スレハ其商船ノ如キ穢ニ長旗ヲ  
 掲ケ居リシヲ以テ昨夜御話ノアロルルト思  
 フ九時東港ヨリ駆逐艦一隻黃金山麓ニ繫留  
 シ今時四十分同夏ヨリ四隻出港セリハ、ヤ  
 レノ西方ニアル軍艦ノ陸正面ヨリ砲撃スル如  
 シ時々發砲ノ火焰見ユ病院船ノ外蓋噴東西  
 向往復甚ク頻繁ナレハ多分負傷者ノ運搬ナ  
 ラム午後太陽溝西北砲台ノ砲撃ヲ受ケレモ  
 別ニ異状ナシ

世七人三海峽山望樓

海軍

0716

一西參謀書信要旨

十月廿六日午右時 軍令部次長兼

島村參謀長宛

旅順口攻畧ノ為ノ海軍部隊ヲ第三軍ニ附屬

セニシラシタル事由ヲ明クニシ置クノ必要

アルニ付左ノ件ニ関シ軍ヨリ取議ノ要旨

出ノ目的御報告方取計カシタシ

一、金州灣方面ニ出セシ二十所速射砲ノ件(瓜達

、月日)

二、四十七番砲貸與ノ件

右詳細通知致度其間御取調ヲ乞フ

一、本日軍通報ヨリ左ノ一項ヲ摘録ス

一、本日ハ豫定ノ如ク砲撃ノ成果ヲ俟テ午後一

時五分頃第十一師團ハ東鷄冠山砲台及全北

参加日  
五月  
19

砲名ヲ砲名ニ向ヒ敵火ノ害ヲ冒シツノ前進  
 其先頭ハ目的地点ニ達セシモ支那旧国郭  
 並ニ比隣諸堡塁ヨリスル敵火ノ為メ少カラ  
 サル損傷ヲ蒙リ其位置ヲ守備スル能ハサル  
 ニ至リシヲ以テ退テ右方斜面脚ニ拠レリ又  
 北砲名ニ在テハ外壕内ニ於テ彼我其占アリ  
 争ヒツ、アリ

第九師團ノ左翼隊ハ午後一時七分P堡塁盤  
 龍山東砲台ト東鶏冠山北砲名トノ中間ニ在  
 ル堡塁ニ突入シ敵火ノ害ヲ冒シツ、其占領  
 ヲ確實ニシ目下工事中ナリ

第一師團ノ左翼隊及第九師團ノ右翼隊ハ松  
 樹山及比隣山砲名ノ外壕内ニ在ル側防柵内

北七ノ...

海軍

0718

ヲ破壊シ其通過法ヲ容易ナラシメツ、アリ  
明朝迄ニハ其作業ヲ完了シ愈々突撃ヲ實施  
スル筈ナリ本日才一師団ニハ將校以下約二  
百名才九師団ニモ粗本同教才十一師団ニハ  
將校以下約千名ノ死傷者アリ

十月三十一日

一技桑畑谷司令官ノ電報

午前十時發

松樹山ニ龍山ノ交通路ハ未夕完成セサルヲ  
以テ外壕迄突入シタルモ其以内ニ進入スル  
ヲ能ハス仍テ昨夜以來其作業ニ從事シツ、  
アリト云フ又才十一師団ハ今日更ニ鷄冠山  
北砲台ニ向ヒ逐次其東方堡壘ニ對シテ突撃

五九  
參加日  
11

ヲ試スル筈ナリ

一細谷司令官ノ電報

午後八時叢

戰鬥ノ経過別ニ變化ナシ鷄冠山北砲台ニ対

シテハ午後五時頃突撃ヲ再行セタルモ其時

果未タ分ラズ松樹山ニ龍山ノ外壕ニ対スル

作業ヲ尚継続中ナリ軍ハ才一線ノ堡壘ノ確

實ナル占領ヲ待テ前方高地ニ突出スル豫定

ニシテ其時期ハ猶而三日ヲ要スルモノノ如

シ

一細谷司令官ノ電報

本日我砲撃ノ為メ旅順泊市街ニ二回火災ア

リ其一ハ午後四時頃ヨリ日没迄鎮火セサリ

ニ又砲撃溝ヨリ發射セシ陸軍砲彈ノ為メ西

北七ノ三海軍

海軍

港奥ニ碇泊ノ二橋一烟筒ノ汽船一隻撃沈セ  
ラレタリトノ報アリ

一海嵐山望楼報告

午前九時ハ、ヤ、ニノ後部煙筒ヨリ烟ヲ上ケ  
全時其傍ニアルニ三艦モ盛ニ黒烟ソ上リ午  
後四時半西太陽溝ノ前ニアル汽船ニ砲弾命  
中將ニ沈没セントスルカ如ク午後零時四十  
五分頃ヨリ白玉山南麓ニ火災起リ二時ニ至  
テ鎮火ス小蒸氣ノ往復例ノ如ク午後五時頃  
又白玉山南東方ニ黒烟上ル多分旧市街ノ火  
災ト思ハル日爰ニ至ルモ止マス

一秋山聯合艦隊參謀書信要旨

一昨日ノ攻撃又々不成功ニ了リタル由真ニ

参加日  
三月  
12

残念次回ハ追撃砲隊ノ兵力ヲ増加シ充分ニ  
歩兵ト協力シ高攻城砲兵隊ヨリニ觀測將校  
ヲ突進セシメ電話器ヲ携帯シ歩兵ノ占領ト  
同時ニ其前面ノ敵兵塁ヲ擲射スル様迅速敏  
活ノ協同動作ヲ執ラシタランニハ必ス成功  
スハミト思惟ス

二、若シ東鷄冠山ヲ占領スルヨリ得ハ此處ニ觀測  
所ヲ置キ海嶺山ト相待テ港内ノ敵艦ヲ擲射  
スルヨリ得ル次才ニテ是實ニ望マニキ事ナリ  
一、本日附才三軍命令左ノ如シ

某三軍命令 三月三十日午前八時  
於柳瀬房

一、松樹山ニ砲山及東鷄冠山北ノ三砲台ニ對ス  
ル突撃ハ外壕ノ通過意ノ如クナラズミテ未

0722

タ之ヲ實施スルニ至ラヌ目下尙ホ其作業ヲ  
継続セアリ

P(盤龍山東砲台ノ東南)及東鷄冠山北砲台ノ  
南方)及東鷄冠山ノ三砲台ニ向ヘル突撃ノ昨  
午後畧ホ豫定ノ時刻ニ實施セラレP砲台及  
窟山(即砲台ト東鷄冠山砲台トノ中間ニアル  
小堡壘)ハ全ク之ヲ占領ニ得タルモ及東鷄  
冠山砲台ニ向ヒモハ一旦之ニ到達シタ  
ル後周圍ヨリスル集火ノ為メ之ヲ保守  
スル能ハスニテ遂ニ突撃地ニ引退セリ  
二、單ハ先ツ松樹山、二龍山及東鷄冠山北ノ三砲台  
ヲ確實ニ占領シ次テ再後ノ進出ヲ圖ラウト  
ス



三、各師團ハ現在ノ位置ヲ確實ニ保守スルト同  
 時ニ松樹山ニ龍山及東鷄冠山北砲台ニ対ス  
 ル攻撃隊ハ依然其動作ヲ継続シ免マテ速ニ  
 ニ之ヲ占領スルニ各攻撃隊突撃實施ノ期ハ  
 豫メ之ヲ報告スルニ  
 四、九師團ハ盤龍山東西兩砲台及針卷山ヨリ  
 其南方高地ヘノ進出ヲ準備スルニ  
 五、十一師團ハ凡及東鷄冠山砲台ニ對シ攻路  
 作業ヲ継続スルニ  
 六、攻城砲兵ハ松樹山ニ龍山及東鷄冠山北砲台  
 ニ對スル砲撃ヲ継続シ且敵ノ妨害ニ對シ  
 為シ得ル限リ我々攻撃動作及陣地占領ヲ掩護  
 スルニ

北支那軍事情況

第...

0724

七、砲兵旅団の松樹山及<sup>七</sup>龍山砲台への突撃  
施<sup>二</sup>後<sup>一</sup>に前任務に基<sup>キ</sup>き之<sup>ノ</sup>援助ス<sup>レ</sup>シ  
八、總豫隊の依然現在ノ位置ニ在<sup>ル</sup>ヘシ

第三軍司令官 野島 乃木 希典

一本<sup>日</sup>府聯合艦隊告<sup>示</sup>一七六号ヨリ左ノ一項

ヲ掲<sup>示</sup>録<sup>ス</sup>

一、獨逸人<sup>ノ</sup>ウキナリ<sup>シ</sup>ナルモノ<sup>ノ</sup>分量<sup>ノ</sup>彈藥<sup>ヲ</sup>膠州

灣<sup>ニ</sup>輸入<sup>シ</sup>更<sup>ニ</sup>之<sup>ノ</sup>旅順<sup>ニ</sup>裝<sup>送</sup>セント企<sup>テ</sup>

ツ、アル者天津仙波陸軍少将ヨリ電報アリ

ヨリ

十一月一日

一、扶桑西參謀ヨリ電報 午後一時四十分着

三  
14  
参加日

師火藥ハ尙程御入用ノ見込ナリヤ有レハ貫  
ヒタシ無ケレハウラヌト云フコトナルヤ是  
非入用ノモナシハ思切ラ此際多量ニ要求  
ニ置カレテハ如何者地ニアルモノニテ不足  
ナシハ内地ヨリ販寄スルコトニ致シテモ且  
ニト思フ

一 扶桑細谷司令官ハ電報 午後發

昨夜來戰況ニ何等ノ變化ナシ鷄冠山北砲台  
ハ我兵其一部ニ取附キ尚ホ之ヲ固守ニ松樹  
山ニ詭山共何レモ了鏡キ作業中ナリ

一 扶桑參謀ヨリ電報 午後六時着

左ノ清濟遠艦長ニ傳ハラレタニ天長節ニハ軍  
服(通常)着用本後佩用午前十時三十分發白

廿七日  
海軍

0726

艦船ハ清艦飾リナシ其他艦艇ハ艦飾ヲナス

正午遙拜式ヲ執行シ皇禮砲終リテ萬歳三唱

午後一時三十分艦飾ヲ送ス附近艦艇ニ傳ヘ

ヨ右三空ヨリノ電ナリ尚右ノ青軍司令部陸

戦隊及砲望樓ニモ通達セラレタシ

一細谷司令官ハ電報 午前十時三十分發

清遠艦長ヨリ本艦ハ炭水欠乏ニ付補充ノ為

々其地ニ行キ差支ナシヤ

一西參謀ヨリ電報 午後十一時五十分着

左ノ青清遠艦長ハ傳ヘラレタシ

芝罘水野領事ノ電ニヨリハ英國汽船ガムツ

ニ号敵ニ買収セラレ芝罘ニ入港シ豫テ全地

ニ到着シアル者航水雷艇技師仏國又二名ヲ

東七旅順口ニ冒險的入港ヲ企テツ、アリト  
一西參謀ヨリ電報 正子着

左ノ電濟遠艦長ニ傳ハラレタニ

芝罘水野領事電ヲムソシ号本日午後二時西

ニ向テ出港セリ秦皇嶋ニ向フト疑

ハシ今回ハ公國人ニ名ハ便乗セサリシモノ

、如シ右一日ノ電

一海鼠山望樓報告

今朝未明ヨリ東港内煙充テ展望不充分ナリ

八時駈逐艦五隻港外ニ出ツ九時廿分又一隻

港外ニ出ツ午后四時海鼠山東方ニ至リ西港

奥ヨリ望見シタルニ三本マスト上ノ白帆ハ殆

ト沈没ノ有様ニテ著シク左舷ニ傾キ左舷側

北七ノ三海鼠山

海軍

0728

ノ青キ筋ハ海水ニ浸リ居ルヲ認ム多分砲撃  
ノ結果ナラム前後ノ橋頭ニハ赤十字旗ヲ掲  
テ居レリ午後五時駆逐艦三隻入港六時又一  
隻入港セリ

一本日附聯合艦隊告示才一七七號ヨリ左ノ一項  
ヲ摘録ス

一伊地知才三軍參謀長ヨリ左ノ電報アリ  
本日ハ松樹山ニ竜山及東鷄冠山北砲台ニ對  
シテハ外壕ノ側防ヲ充分破壊スルコト欲ハ  
サルレリ以テ突撃ヲ實施スルニ至ラス目下  
其破壊ヲ努メツ、アリ

某十一師團ハ東鷄冠山砲台及北砲台ニ向ヒ  
午後一時ヨリ突撃ヲ實施シ其先頭ヲ目的線

一連セシニ比隣ヨリスル敵火ノ為リ其位置  
ヲ守備スル能ハスニテ相隣地ニ退却セリ我  
死傷約千五百名アリ

十一月二日

一扶桑田谷司令官、電報 午前十時發

濟遠艦長ヨリ本艦ハ炭水欠乏ニ付明後四日  
其地ニ行ク差支ナキヤ

右ト同様ノ意當方ハモ伺ヒアリシカ軍ニ於  
テハ差支ナキ旨返答ノ答

一扶桑參謀ヨリ電報 午前十一時十分着

二日午前一時十分軍參謀長發電戰國通報中  
汽船ニ隻撃沈トアルハ如何ナル歟ニシテ何

0730

噸位ノモノナルヤ取調御報告ヲ乞フ又命令

報告中ニアル艦艇等ハ可成其形ト其大サ

ヲ同時ニ御報告ヲ乞フ

右軍ハモ御傳ヘアリタシ

一扶桑參謀ハ電報

午後二時三十分發

答一昨日礮盤溝セハ母砲ヲ以テ撃沈サレタ

ル西港奥ニアル汽船ニ隻ハ伊集院觀測番ニ

ニアル番辨セ一セニセ三ノ内ラミク又昨日

モ同砲ヲ以テ同種類ノ運送船更ニ二隻尙シ

モ三千五百噸許ニシテ二橋一烟筒ヲ撃沈シ

右四隻ハ西太陽溝南浦河口ニ相並ヒテ共ニ

半ヲ沈没ノ状態ニ在リ多分其附近水浅クシ

テ全部沒了スルニ至ラサルモノナラレトシ



報告ナリ、濟遠艦長報告六號砲艦昨日着

一 網谷司令官ヨリ電報

午後四時十五分着

濟遠艦長ニ傳ハラレタシ便宜帰港差支ナシ

一 島村聯合艦隊參謀長ヨリ電報

午後七時四分着

綿火藥ハ本日更ニ四千五百キロ程台北丸ニ

準備ニ何時ニテモ軍ノ要求ニ応ジ得ル様ナ

ク置ケリ痛々各艦ニ反裝水雷用ノモノ多量

アリ必要ニ際セハ要求ニ應スヘシ右舎ニ置

カレタシ

一 扶桑西參謀ヨリ電報

午後七時四十分着

島村參謀長ヨリ發電ノ台北丸ニ準備ニアル

濕綿火藥ハ三千キロニシテ乾綿火藥ハ四十

五キロナリ訂正ス

三三  
五  
ワ  
參加日

一西参謀ヨリ電報

瀛綿火藥二千キロの直クニ應ニ得ラル尙艦  
隊ノモリ集ムレハ千キロ位ハアル見込ナ  
リ

一細谷司令官ハ電報

キ右九時三十分表

答旅順旧市街トニ竜山砲台トノ中間ニ位ス  
ル元宝房谷地ニ於テ三回ノ爆発アリ同時ニ  
市街ニテアル人員平常ニナク動搖セリヲ認ム  
其原因詳クナラス各堡壘ニ対スル我々工事ハ  
一生懸命施行モツノアリ

一本日附軍通報ヨリ左ノ一項ヲ摘録ス

一攻城砲兵司令官報告ノ要旨ヲ摘出スルヲ左  
ノ如シ



又、陸戦重砲隊モ港内ノ軍艦造船場新市  
街等ニ向ヒ砲撃ヲ施行セリ

一本日附聯合艦隊告示第一七八號ヨリ左ノ二項  
ヲ摘録ス

一第三軍參謀長來電(三十一日午後五時<sup>五十分</sup>發)

本日午後五時頃第十一師團ハ北砲台ニ突入

ニ逐次増加シテ八時頃ニハ約五〇名ヲ以テ

東方斜面ヲ占領シ目下工事ヲ施シツ、アリ

(直ニ内部ニ入ルコトハ危険ナルヲ以テ)今夜

全部ヲ取ル能ハサルトキハ明日之ヲ勉メシ

トスP砲台ハ昨夜教回ノ逆襲ヲ受ケ十時半

頃一度之ヲ失ヒシモ十一時頃再々之ヲ奪還

セリ此戰鬥ニ於テ一ノ戸女將ハ自ら散兵線

三ノ文  
19  
参川日

ヲ指揮シテ前進セリ目下其占有ハ確實ナリ  
ニ龍山ノ外壕ハ深サ約十二米突巾約十五米  
突ニシテ二重ニ側防機関アリ其上部ハ既ニ  
破壊セシモ下部ハ未タ目的ヲ達セズ依テ今  
夜攻路ヲ穿テ之ヲ爆発スル筈松樹山ノモノ  
ハ深サ約六米突巾約八米突ニシテ前同様ノ  
側防アリ之ノモ今夜同様ノ作業ヲ為ス警要  
スルニ此ニ砲名ニ対シテハ我兵既ニ外岸頂  
ニ突撃陣地ヲ作りテ以テ二三日中ニハ  
突撃成効ノ見込アリ昨夜第九師団ニ約三  
〇ノ第一師団ニ五〇名ノ死傷者アリ第十一師  
団ハ未タ不明アリ  
ニ市俄吉「テ」リ「ニ」ニ「ユ」通信員ノ乗船芝罘

北支那軍艦隊  
海軍

0736

ハ旅順陥落後迄出動セストノ條件ノ下ニハ  
平島在泊ヲ許可セラレタリ同船ハ前橋頭  
（CD）ノ旗ヲ大橋頭ニ船名符字ヲ掲ケ来ルニ  
日早朝芝罘ヲ襲シ田島ヲ経テ同日々没前小  
平島着ノ筈ナリ又同船ハ旅順陥落ト同時ニ  
芝罘ニ直航スルヲ許可シ得タリ

十一月三日

一 扶桑西参謀ヨリ電報

午右九時二十分着

四十七密彈藥ノ名地ニ在ルノ種・テ数量ナ

リ内地ヨリ取寄セ置クノ必要ナキヤ

一 海嵐山望楼報告

午後敵ノ艦隊ニ向テノ観測射撃ハ老虎尾砲

台三卒命中セリ其他ハ山ニ透キラレテ見エ  
ス号クノ命中アリタルナラム

一本日附第三軍命令左ノ如シ

第三軍命令

十一月三日午後二時  
茨城柳田房

一陸戦重砲隊ノ一部(目下火石岑子附近ニ布置  
セテ)九十二所砲六門及ヒ之ニ要スル人員ヲ

野戦砲兵隊ニ旅団長ノ指揮ニ屬ス

ニ野戦砲兵隊ニ旅団長ハ松樹山及ニ龍山兩砲

台并ニ其南方高地ニ對スル攻撃援助ノ目的

ヲ以テ前砲隊ノ為メニ水師營附近ニ陣地ヲ

接定セ速カニ之ヲ布置セシムルニ

第三軍司令官男爵 乃木希典

一本日附軍通報ヨリ左ノ一項ヲ摘録ス

一攻城砲兵司令官報告ノ要旨ヲ摘録スルニ左  
ノ如シ

昨日午前十一時ト全十分トノ間ニ二回元室  
房附近ニ大ナル爆撃アリ其状況火薬庫ノ爆  
破ニ似タリ本件ハ第一師団ヨリモ全様ノ報  
告アリ次テ十二珊海軍砲ノ敷場溝附近ニ向  
ヒ約八十子発リ発射ニ午右ノ時十三分全地附  
近ノ火薬庫一個ヲ爆破セリ

二十八珊砲ハ昨日西港内ニ在ル二橋一煙竈  
ノ汽船(三々)乃至三々五而頓挫ヲ撃沈セリ之  
ニテ合計五隻ノ汽船ヲ撃沈セシナリ

一戸堡壘命名ノ件ニツキ布告左ノ如シ  
去ル三十日ノ戦闘ニ於ケル歩兵第六旅団長



一戸又將、勇敢ナル動作ニ関シ之リ大本營ニ報告セシニ参謀總長ヨリ左ノ電報アリタリ  
依テ時ニ之ノ全軍ニ布告ス

貴ニハハ號戦況ニ於テP砲台奪還ノ際一戸少將自ラ散兵線ヲ指揮シ前進セリトノ勇武ナル動作、時ニ参内シテ之ヲ伏奏セリ

自今P砲名ヲ一戸堡壘ト命名ス

明治三十七年十一月三日

第三軍司令官野島直也

一本日附聯合艦隊告示才一七九號ヨリ左ノ二項ヲ摘録ス

一第三軍参謀長来電(二日午前一時十分發)

0740

東鷄冠山北砲台、既ニ其頂斜面ヨリ古領ニ目  
下全砲台古領ノ準備中ナリ松樹山及ニ龍山  
ハ全カヨリ尽レテ側防棧閣及外岸ノ破壊ニ力  
ソテルモ未タ之ヨリ完了スルニ至ラス

昨三十一日二十八冊及海軍砲ヲ以テ港内及  
造船所ニ向ヒ若干ノ砲撃ヲ加ヘシニ砲艦ヲ  
リヤルクニニ条命中シ並噴火二隻ヲ撃沈セ  
又埠頭附近ニ積ヲ大ナル火災ヲ起シ燬ニ  
火烟ヲ揚ケタリ

ニ水野芝罘領事電報要領

在旅順口ノ著航水雷艇修理ノ為ノ招聘セラ  
レ芝罘露國領事館ニ滞在セル仏國技師二名  
ハ汽船サムソニニテ旅順ニ渡航スルノ計画

参加員  
22

ヲナモフ、アリレカ何故カ今回、同船ニ乗  
込マス同船ハ一日午後二時秦皇島ニ向ヒ出  
港セリ汽船ヤムヤレハ上海ニテ雇入レタ  
モノニシテ代價ノ大半ソ仕拂ハレタ  
ルモノ  
チルカ前電、如ク魚線電信ハ未タ取付ケ居  
ラサルモノ、如シ

十一月四日

一、扶桑細谷司令官、電報

午後九時發

火石岑子ニ在ル十二吋海軍砲六門ヲ水師附  
近ニ移シ野戰砲兵隊ニ旅団長ノ指揮下ニ属  
ス松樹山ニ龍山兩砲台及其南方区ニ向ヒ一  
層有力ニ射撃セシムルヲナレリ

世...

海軍

0742

海軍山報告午後五時四十分我海軍砲ノ東港  
 内ニ向テ撒布射撃中港外ヨリ二隻ノ駆逐艦  
 入り来リテ將ニ水道内ノ浮標ニ繫留セシト  
 シタルニ一彈該艦首ト浮標トノ間ニ落下シ  
 タル為ニ倉皇港外ニ引返シテ黄金山麓ノ破  
 壞船ニ繫留セリ又一發ハ老虎尾砲台ニ命中  
 シタルヲ認ム同六時港外ヨリ駆逐艦一隻港  
 口迄入来リシカ尚射撃中ナリニ故之ヲ恐レ  
 タルモノ、如ク直ニ港外ニ引返セリ兩三日  
 来港内ニ於ケル駆逐艦及汽艇等ノ状態ニ付  
 キ孰ク考察スルニ彼等ハ皆甚ニク我砲彈ヲ  
 怖シテ安全ナル碇泊位置ヲ挨拶スルニ汲々  
 タルモノ、如ク特種掃海艇ノ如キハ先日其

参加日  
三月一  
23

友艇ヲ燒カレシ  
以來未ダ一回モ西港内ニ入

来ラス或ハ港口ニ繫留シ或ハ威遠砲台外側

ニ潜伏ス取逐三四隻モ亦港外防材ノ内方ニ

新繫留地ヲ設ケシ模様ナリ

一四十七密米突砲配付左ノ如シ

第十師團

保式 三七 五 六 一六 山内式 一三九二九

一三四一九

第十一師團

保式 七五 五 山内式 一三六八二 一三四二〇

第九師團

保式 二五 八 一七 山内式 一〇七五〇 一三六九四

一八九五

世  
海軍

0744

一本日府陸軍通報ヨリ左ノ一項ヲ摘録ス

一第一師団ニ於テ降参人ヨリ訊問シテ得タル情

報左ノ如シ

其一、旅順ニ於テハ新ニ砲彈ヲ製作スルコト能

ハサルモ現下旧支那時代ノ砲彈ヲ改造シテ使

用シツ、アリ外部ヨリノ輸入ハ近頃甚タ少

シ

其二、現下々士卒ニハ肉類ヲ支給セラレサルノ

ミナラス一日二斤半定量ノ黒麵包モ今日ハ

二斤弱トナレリ將校ニハ牛羊等ノ塩肉ヲ支

給ミ来リシモ五日前日本軍砲撃ノ為メニ糧

食倉庫ヲ焼カレシヲ以テ諸食品ノ過半ヲ失

ハリ要スルニ食物ノ為メ少カラサル苦痛ヲ

三三  
24

感ミツ、アリ

其三、旅順ニハ現下總豫備隊ナリ各堡壘ニ各

自ノ豫備隊ヲ有スルノミ

一、本日附聯合艦隊告示第一八〇號ヨリ左ノ一項

ヲ摘録ス

一、或ハ確ナル筋ヨリノ報告ニ拠レバ大沽方

面ヨリ旅順港ハ軍需品ヲ密輸入スル支那船

ハ先ツ廟島列島ニ向ヒテ直航ニ努メ小欽島

ヲ奔シ老鉄山頭ニ至リ夜陰海岸ニ接シテ老

虎尾附近ニ至リ赤色ノ燈火ヲ閃クニ振リテ

露軍ニ信辨スルコトナリ居シリト云フ

十一月五日

0746

九月廿八日

一島村聯合艦隊參謀長ヨリ電報

一昨日電報セシ名北丸準備ノ綿火薬ハ二千

余平口ノ間違ニ付キ御議知アリタシ

一本日附軍通報ヨリ左ノ一項ヲ摘録ス

一攻城砲兵司令官報告ノ要旨左ノ如シ

其一昨日廿八日砲ハ片砲台ニ向ヒ三十八

發命中廿四發ニ龍山ニ向ヒ廿六發命中

廿三發松樹山ニ向ヒ九發命中七發東鷄

冠山ニ向ヒ十八發命中十三發ヲ發射シ

掩蓋其他ノ構築物ヲ破壊シ少カラザル

損害ヲ與ヘタリ

又々陸戦重砲隊ハ白玉山南麓ニ在ル敵

ノ軍艦西港ノ埠頭附近ニハ蒸氣艇遺骸

0747



参加日  
25

場等ノ射撃セリ

其二一昨三日廿八  
四發命中十九  
東鷄冠山ニ向ヒ十八發命中  
中十四  
砲名ニ向ヒ二十一發命中八  
樹山ニ向ヒ五發命中四  
發射ニ東鷄冠  
山咽喉附近ノ野砲一門ヲ破壊シタルカ  
如ク其他ニ於テモ多少ノ損害ヲ與ヘタ  
リ又夕陸戰重砲隊ハ東港内造船塲元室  
房松樹山補備砲台望背後ノ谷地等ヲ射  
撃ニ東港附近ニ猛烈ナル火災ヲ起サシ  
メ約四時間燃燒セリ

十一月六日

0748

一 海峽山望接報告

午前十時 駆逐艦二隻 港外へ出て、カ直ぐに  
入港 黄金山麓へ 警備ス 小艇 往復例ノ如シ  
港内 静穢

一 秋山 聯合艦隊 參謀書信要旨

猿 順攻 畧 今後 備ノ日ニアルカ一才見当不付  
真ニ 計畫上 当惑ノ次 策ナリ 軍令官ノ 武士ノ  
對 面上 最早 此上 艦隊ノ 要望スルガ 出来スト  
云フカ 如キ 御感念ノナキ 我海軍ハ 尚 出来  
ル 夫々 助力 致度 意向ニ 付内情 御取調ノ 上 御  
内報ソ 乞フ

前便ニモ 申シタル 如クニ 三高地 着クハ 鷄  
冠山 方面ニテ 港内ヲ 瞰視シ 得ル 地点ヲ 占略

三十四  
26  
參加日

スル見込サハヤレハ陥著スハニト思フ故ニ  
今一度敵射高地占畧ノ目的ヲ以テ正攻奇襲  
折中ノ一撃ヲ試ミテラシニ成功迅速ナラ  
ムト存ス

切崩ス所キリハヤレハ腰ノ拔ケタル事ニ  
付其後何等間諜ヨリ得ル処ナキ哉

一本日附軍通報ヨリ左ノ一項ノ摘録ス

一攻城砲兵司令官報告ノ要旨左ノ如シ

昨日二十八砲ヲ以テ東鷄冠山ニ向ヒ二十

一發命中十六二砲山ニ向ヒ二十八發命中十

九松樹山ニ向ヒ七發命中四旅順市街ニ向ヒ

七發ソ發射セリ又夕陸戰重砲隊ハ造船場前

玉山麓及東港内ノ軍艦ニ向ヒ四十九發ソ發

中ノ一  
海軍

0750

射セリ

火石岑子附近ニ在リシ十二吋砲六門ハ砲兵  
第二旅団長ノ令下ニ入り去四日砲兵第二十六  
第十七旅第十八聯隊ノ陣地ニ二門宛分属配置  
セラレタリ

十一月七日

一校東畑谷司令官ノ電報

午前九時發

昨日滿洲軍總參謀長ヨリ當軍ニ對シ次回ノ  
突撃ハ何日頃實行ノ豫定ナルヤ問合セ来リ  
軍ハ左ノ通告ヲ送リ

目的ノ堡壘ニ對スル我工事ノ其進行ニ從テ  
益困難ノ感ハ意外ニ進歩セズト雖モ各方面

0751

着々其事業ヲ進メテ今ナリ仍テ軍ハ先ツニ

龍山并ニ鶏冠山北砲台ノ占有ト圍壁ニ對ス

ル工事ノ竣成ヲ待テ南方高地ニ突進スル筈

ニテ今後約十日間ノ要スル見込ナリ(秘密)

二龍山ノ外壕ニ右ノテ設ケタル我散兵據地

ヨリ港内軍艦ヲ展望シ得ル音報告アリタル

ヲ以テ本官ハ本日之カ偵察ニ赴キ果シテ事

實ナルハ攻城砲兵司令兼ヨリ茲ニ觀測將校

ヲ出シテ之ヲ砲撃セシメラルル、苦ナリ委細

ノ模様ハ帰リ次第報告スルコト

一 扶桑參謀ヨリ電報 午後三時五十分着

濕綿火藥一千打、四七〇リ輝藥六十莖軍ノ

供給スルコトニテ、木炭ノ賣官及望樓用トシ

廿七八年海軍史

海軍

0752

テ不取敢三十俵明八日送ル

一細谷司令官ノ電報 午後九時發

本日二竜山ノ敵兵壕ヨリ港内ヲ展望ニタル

ニ水道ノ全部及其以東ノ見ルソ得タレ

敵ノ主力艦隊ハ其視界内ニアラス白玉山ノ

脚ニ煙筒其數不明及櫓ノ出シ居ル一汽船ア

リ大軍艦ニアラサル丈ハ分リタレ其種類

ハ不明ナリ(港口ニハナリヤীগグシミヤシ

ク止駆逐艦五隻及小艇汽船二隻アリ東港ハ

船渠ノ北方ニアル高地ニ渡キラレテ見ル

緋ハス只軍艦ノマス止ラキモノニ本ヲ認

メ得タルノナリ右ノ状況ニシテ展望甚タ

不充分ナレ免モ前日午前ヨリ請津備リ

整ハ赤後姜家屯ニテ八廿八母砲ヲ以テ其諸

艦艇ヲ砲撃セシメラル、事ニ決定セラレタ

リ委細書面

一、陳象溝望楼ハ電話

細谷司令官電左、旨赤城艦長ニ傳ヘヨ北隍

城島ノ東端ノ南四十度西約六ゲリガル、伍

置ニ在ル干出六呎岸ト南隍城島トノ間ノ水

路ハ暗岸アリテ危険ニ付通航ス可ラス

一、海龍山望楼報告

午前九時ヨリ十時迄駆逐艦二隻出港又ニ隻

入港ニ黄金山麓破船ニ繋留ス早朝ヨリ正午

迄東西港間ノ交通往ハ汽艇二十隻ホリ止ニ

隻復ハ汽艇十八隻バテワ止一東港ヨリ港外

0754

汽艇十一隻、九港外ヨリ東港へ汽艇三

隻、止ニ午後東港ヨリ港外へ汽艇四隻、止

一東西港間往汽艇六隻、止ニ復汽艇八隻

止一西港ヨリ港外へ汽艇一隻、大ナル防材

ヲ曳キ行ク、認ム午後四時黄金山下ノ駆逐

艦港外ニ出テ五時四十分入港ス

一本日附聯合艦隊核密第一二五七號左ノ如シ

第七戰隊大連灣防備隊及 三月廿七日旨

艦隊集合地港務部ニ訓令 於島附近並

自今大連灣附近ニ於ケル各隊ノ任務分限ヲ

左ノ通り劃定ス

(第七戰隊)  
一、作戦上ノ通信連絡

0755



二 第三軍下、共同作戰及陸戰重砲隊、後方

助力

三 望樓、監督及其通信連絡

四 小平島附近、掃海及警戒

五 沿岸測量

(大連灣防備隊)

一 大連灣航路標識、維持并水路、保安

二 大連灣出入船舶、嚮導及港務一切

三 大連灣、固定防禦

四 青泥窪工作部、艦艇修理

五 南口角大嶺口、望樓監督及通信連絡

六 陸軍運送艇、碇繫出入監督

艦隊集合地港務部

海上

海軍

0756

一 艦隊附屬給炭船給水船給兵船給糧船通信  
船病院船工作船、監督

二 艦隊、諸艦船大連灣防備隊陸戰重砲隊等  
、給炭給水給糧給兵業務

青泥窪ニ於テ右各隊所屬艦船、泊地ハ大  
連灣防備隊司令官、區處ニ依リ區分スヘシ  
右各隊、船舟人員等、業務、緩急ニ準シ相  
互ノ要望ニ應ヒテ相供用助カヌヘシ

聯合艦隊司令長官東郷平八郎

一 本日附聯合艦隊告示第一八二號ヨリ左リ二項  
ヲ摘録ス

一 天津伊集院元領事ヨリ、電報ニ拠リ、獨  
國大汽船、彈丸其他戰時必要品ヲ積載シ

于政州ヨリ既ニ膠州湾ニ着キ同地ヨリ旅順  
 ニ密航セントストノ確報ヲ得タリト又當地  
 方ヨリ不明ヲ列ヤン以救隻ニ積込ニ小汽船  
 ヲソフ山ヲニテ之ヲ曳キ旅順ニ密航セント  
 目下頻ニ計畫中ニテ既ニ彈藥ハ便船次漢  
 太沽附近ニテ支那船ニ積込遣リタルカ如シ  
 天津仙波少将ヨリ左ノ電報アリ  
 当地露國領事カ曩ニ支那船ヲ以テ旅順ニ兵  
 器彈藥ヲ輸入セントスル計畫ハ之ヲ取止メ  
 目下芝罘ニアル汽船アンネイヲ五ノ噸ヲ  
 使用スルユトナリ談判整ヘ不日天津ニ回  
 航荷積スル筈又目下太沽ニ在ル汽船芝罘  
 ハ近日兵器彈藥ヲ積込ハ旅順口ニ向ケ出發

0758

スル筈ナリ

十一月八日

一 扶桑細谷司令官へ電報

午後二時發

二 龍山ヨリ見ユル艦艇ニ對スル砲撃ノ準備

完成シタルヲ以テ午前十時頃ヨリ砲撃ヲ開

始シタルニ港口ノ者ハ倉皇濠子營下ニ隠シ

タルカ如シ午後〇時三十分ヨリ銃テ白玉山

脚ニアル汽艇ヲ砲撃スル旨其結果ハ分り次

第報告スヘシ

一 細谷司令官へ電報

午後發

二 龍山ヨリ見ユル艦艇ニ對スル砲撃ノ結果

ニ付テハ未タ確報ナレト魚只今関ク所ニヨ

0759

レハ本日廿八冊砲ヲ以テ約三十發ヲ放ケシ  
ニ港口ニアリシ砲艦ハ雷子管下ニ其影ヲ隠  
タシ白玉山麓ニアリシ者觀測光分出未サリ  
シ為ノ何レモ其結果不良ナリシカ如シ尚明  
日觀測ノ方法ヲ研究シ更ニ砲撃ヲ継続セシ  
メラルニ苦ナリ

一陳家溝望樓ノ電話

左ノ通赤城艦長ノ傳ヘヨ

濟遠艦長ヨリ電報天候其他種々ノ事情ノ為  
ノ漸ク七日夕ルニシニ着九日早朝此地出發  
十日其地着ノ豫定日進汽艇ハ其艦カ又六号  
砲艦此地ハ廻航ノ節同行セシムル様用意セ  
ラシ度五号ハ明九日中ニ其地ノ着スル豫

海上ノ...

海軍

定

一海嵐山望接報告

午前九時威遠砲台下ニ在リタル船リヤノク  
 及砲艦一隻出港ニ蚤子營砲台下ニ投錨セリ  
 十一時威遠砲台南岸ニ集リ居リタル駆逐  
 艦及汽船等ハ何等ノ目的ナルヤ皆蚤子營砲  
 台下ニ着ニ着ニ黄金山麓ノ駆逐艦モ亦同處ニ来  
 リ船中ノコトヨクモ同砲台南東岸ニ投錨セリ  
 一扶桑西參謀書信要旨

別紙長電及下瀬火薬ノ件當司令ニ意見ヲ徴  
 ニ御答ニ代フ

又別紙軍令部次長ヨリ聯合艦隊司令長官ハ  
 電報内々御覧ニ供ス主力艦隊モ一二隻宛

三〇  
参加日  
82

内地ノ滯ニ修理ニ着手ノ筈非常ノ極秘軍司  
令官達ニモ秘シク乞フ

小田司令意見

一長電ヲ陸軍ノ戦闘ニ使用シタキ儀ハ三ヶ  
月以前秋山参謀ヨリ相談アリタシモ水中  
ニ使用ノ目的ニ製造セラレタル者故其構  
成殆ト装鎧電纜ト同様ニテ一本ノ二百  
米迄重量約一噸半アリテ運搬ニ非常ノ不  
便アリ君シ長キ爆薬ソ必要トセハ錦火薬  
知スクリ積シ奇地帆布ニテ覆フ様ニセハ  
陸用ニハ却テ有効ナラントフニテ取止  
メト相成レルナリ

二下瀬火薬ソ擲爆薬トナスニハ本元ニ申遣

北ノ入生海軍

海軍

0762

サハ如何様ノ形状重量ニテモ製造ニ来ル  
ヘシ但此地ニハ同火薬モナリ又之ヲ隨意  
ノ形状トナスヤハ出来不申御心得追ニ申  
ス下瀨火薬ノ爆弁力ハ錦火薬ト殆ロト同  
一ナリ故ニ此際ニ用ユル者ハ錦火薬ヲ可  
ナリトス

電文譯

七百五番海軍 軍令部次長發

海軍 聯合艦隊司令長官宛

諸情報ヲ綜合スルニ東洋ニ夫航ノ途ニアル  
ハ九々ツツ之艦隊中北海澳船事件ニ関スルモ  
ノハ一時ウキゴロニ入港滞在ニ其他ハ潜航  
ニテカウガールニ入港セシカウガールニ數

0763



日留ル艦隊即チフス<sup>ウヰ</sup>ロフ<sup>ア</sup>ル<sup>キ</sup>サン<sup>ヤ</sup>ブル  
 三世<sup>ボル</sup>デ<sup>ノ</sup>アリヨ<sup>ル</sup>等ハ十一月一日可  
 セストウエニスキ<sup>ノ</sup>等<sup>ヲ</sup>出<sup>発</sup>シ三日<sup>外</sup>  
 ニケ<sup>リ</sup>ルニ着<sup>セ</sup>リ是ヨリ先<sup>キ</sup>已<sup>ニ</sup>ケ<sup>リ</sup>カ  
 ルニアリシ諸艦船中<sup>ニ</sup>取<sup>逐</sup>艦六隻ハ同港<sup>ヲ</sup>發  
 シテ十一月一日<sup>アル</sup>ニ<sup>到</sup>着<sup>シ</sup>コ<sup>ノ</sup>イ  
 ヲ<sup>リ</sup>ヘ<sup>キ</sup>ス<sup>ラ</sup>ロ<sup>キ</sup>ヤ<sup>ナ</sup>ヒ<sup>モ</sup>コ<sup>ノ</sup>ロ<sup>ン</sup>ス<sup>コ</sup>イ<sup>ハ</sup>テ  
 エル<sup>ケ</sup>ル<sup>サ</sup>ト<sup>ノ</sup>等<sup>ヲ</sup>三日<sup>ニ</sup>出<sup>発</sup>シテ<sup>カ</sup>リ  
 上<sup>ノ</sup>島<sup>ス</sup>タ<sup>ノ</sup>灣<sup>ニ</sup>向<sup>ヒ</sup>其他<sup>ハ</sup>ウ<sup>ヰ</sup>キ<sup>ヨ</sup>リ<sup>来</sup>  
 會<sup>セ</sup>ル<sup>主</sup>カ<sup>ノ</sup>合<sup>シ</sup>テ<sup>ケ</sup>リ<sup>テ</sup>向<sup>ケ</sup>五  
 日<sup>タ</sup>ニ<sup>ケ</sup>リ<sup>ル</sup>ヲ<sup>出</sup>發<sup>セ</sup>ル<sup>モ</sup>ノ<sup>ト</sup>認<sup>メ</sup>ラ<sup>ル</sup>此  
 行<sup>動</sup>ハ<sup>欧</sup>洲<sup>ヨ</sup>リ<sup>接</sup>受<sup>セ</sup>ル<sup>ハ</sup>ル<sup>ヲ</sup>ツ<sup>ク</sup>艦<sup>隊</sup>中  
 航<sup>海</sup>力<sup>大</sup>ナル<sup>モ</sup>ノ<sup>ヲ</sup>喜<sup>望</sup>峰<sup>ヲ</sup>廻<sup>リ</sup>其他<sup>ハ</sup>ス

出<sup>入</sup>ノ<sup>事</sup>ニ<sup>係</sup>ル<sup>事</sup>

海<sup>軍</sup>

0764

エスレヲ通過スル筈ナリトノ謀報ト一致スル  
 ノミナラス又今回ノ彼ノ動作ハ従来見サル  
 程活潑ナルノ感アリ故ニ同艦隊モ今度ユワ  
 ハ百難ヲ排シテ東洋ニ至ルハヒトノ嚴命ヲ  
 受居ルト言フモノ真相ニ近シト認ム依テ旅  
 順攻略ヲ急クコトハ至極御同感ニテ既ニ教  
 曰前ヨリ陸軍部ト打合ハセ督促アリタルハ  
 御兼知ノ事ナルカ今度又新ニ參謀本部次長  
 ヨリ滿洲軍并榮三軍ニハルチツク艦隊ノ東  
 航朝日艦ノ奇禍ニ関スル通報ヲ發スルト同  
 時ニ松樹山ニ龍山一帯ノ攻撃ト共ニ二〇三  
 高地ノ占領ヲ速カニ港内ヲ隈ナク瞰  
 制シ得ルノ地莫ニ出テ旅順攻畧ヲ急カレ度



ニ第三軍ノ困苦ヲ扣ヘ居リ余リ督但ニ悪キ  
事情モアルヘキモ此辺ハ誤解ナキ様考慮  
アリタシ

一本日附聯合艦隊告示第一八三號ヨリ左ノ一項  
ヲ摘録ス

一芝罘守田陸軍少佐末電(五日午前十時十五分發)

只今登州府ニアル我間諜ヨリノ報告ニ依シ

ハ昨日来ノ暴風雨ノ為メ旅順行密航船ノ廟

島列島ニ集リタルモノ七十餘隻ニモテ殆

ト空船ナリ其中密使ヲ乗セタル小舟七隻ア

リ又本日龍河灣ヲ奔ミタル密航船ハ十三隻

ニモテ其中五隻ハ荷物一隻ハ露探ト支那婦

人トシテ乗セ居ルコト今俄ニ此ノ如キヲクノ